

「生命の科学」第4課 万物の相互関係

人間に役立っている領域の中で、それらのどれが欠けても人間は存在する事が出来ず、宇宙の計画も完全ではなくなります。

英知が最高に表現されるものとしてあらゆる分野における生命を理解する事は人間の義務です。

我々の理解力では何も存在しない様に見える不可視の気体の分析をしましょう。

気体は密度と目的によって様々に分類されます。

気体は絶え間なく融合・分解し気体の領域の中で異なる化合状態を生みます。

気体の活動で穏やかな化合状態から液体が現れます。

気体類が液体化した時と同様に、液体領域で活動が穏やかになると凝固が始まります。

如何なる源から生じたとしても、活動している所には必ずエネルギーが存在します。

このエネルギーの分類は摩擦・静電気・運動エネルギーです。

雷の例をとっても空間は多くの元素で構成されている事、フォームの生じる場は宇宙空間であると言える事です。

驚異的な事に、崩壊として知られる法則は同時に誕生の法則です。

創造の根源の力・因・すなわち創造の目的は継続します。

英知に従っている物質は全て不変の状態で存続します。

人間も英知に従わなければなりません。

エゴのマインドが宇宙の英知から離れて行動する時に人間の文明は滅びます。

生命体（人間）の体験に基づく記憶は、固体内の細胞中の各分子内に記憶されます。

人体は無数の細胞で作られています。

各々の細胞はそれぞれに数千の分子から構成され、その分子は過去・現在・未来の活動の為の記憶パターンを伝達します。

意識すなわち記憶を運ぶ分子群はフォーム（人間）が成長する為の基盤となります。

このことは我々にヒントを与えてくれます。

すなわち、印象を感知し覚醒している人・・・分子群から確かに伝えられてい

る意識からの印象に批判的なマインドを従順に従わせる訓練をした人程、より多くの情報を得るのです。

印象とは分子からバイブレーションで伝えられます。

人間のマインドが事前に訓練（自然界を教師とする）を受ける事によって自然界のあらゆるフォームと親しく交わる事が可能であると分かります。

すなわちテレパシクになるのです。

DNA・RNA（分子群）の価値と潜在能力。

DNAは生命からの指令を運ぶ詳細な設計図です。

記憶は人間や、あらゆるフォームの部分の中で唯一永続する部分です。

記憶がなければ人間として存在出来ません。

人間の意志は意識の意志に従わなくてはなりません。

フォーム（人体）の内部で起こる全てを学ぶのたマインド（人間）の権利であり義務でもあります。

マインド（人間）はフォームの中に存在する意識ある英知の働きにほとんど気付いていません。なぜなら睡眠中も意識は人体を働かせているのですがマインド（人間）は何も知らないからです。

☆スペースブラザーズは睡眠中でさえも意識の働きを認識しているのです。☆

この講座では一つの信条も設けません。

ただ、あなたの内部で働いている意識ある英知に気付く事が必要です。

スペースブラザーズは、言葉を交わす事なく万物と意志の伝達が出来る程に成長しているのです。

好き・嫌いによる裁き・差別・恨みの感情を抱いては、この知識を持つ事は出来ないことを忘れてはなりません。

生命から与えられる様々な祝福を享受するには、宇宙の原理を自発的に学ぶ事がマインドの義務です。

こうしてこそ、過去の体験から得た価値を思い出す時に過去の記憶が役立つのです。

以上：第4課の抜粋